

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害の盛土に関して

(1) 土の採取等計画届出書から

- ① 空欄があるままで静岡県土採取等規制条例に基づく届け出を受理することは通常あり得るのか
- ② このような形で受理した場合、受理以降にどのような問題が生じる恐れがあると思われるのか

(2) 平成21年11月4日に静岡県熱海総合庁舎で話し合われた打ち合わせ記録から

- ① 平成21年11月時点で果たして砂防ダムは機能していたのか
- ② このダムの浚渫はどの程度の頻度で行われていたのか

(3) 「熱海市伊豆山字赤井谷における経緯」という関係者が集まり作成した文書から

- ① 当時この敷地内にあった水道施設はどのようなものでどのような役割を果たしていたのか
- ② 仮にこの施設を撤去しなくてはならないとすると当時どのような影響があったと考えられるのか
- ③ 所有者が変わったこの土地を含め現在も市内の私有地の中に市の水道施設は存在するのか
- ④ 存在するとするならばどのような施設がどのくらいあるのか

(4) 平成21年12月2日の熱海市まちづくり課、静岡県熱海土木事務所、静岡県東部農林事務所治山課との打ち合わせから

- ① この文書ではS社に対して平成19年4月に受理した土採取の届け出については採取期限が切れ無届け状態であるといった記述がみられるが、無届けであるならばその時点で静岡県土採取等規制条例に違反していることになる。この時なぜ措置や停止といった強い対応が取れなかったのか疑問に思うが、一般論として、無届けの状態を放置していた当時の対応は適切であったといえないと思うが、当時の対応について現在の熱海市の見解を伺う
- ② そのような事例は熱海市においてこの問題以外に存在したのか

(5) 条例や法律を守らない悪徳業者・個人に対して

- ① 法や条例を守らない悪徳業者・個人に対して熱海市は今後どのような対応をとるべきとお考えか

(6) 被災された方々への心のケアについて

- ① 不安な日々を過ごされている方々に対しては、これから本当にメンタルサポートが必要になってくると思うが、現在、そして今後、熱海市はどのように被災者の心のケアにあたっていくつもりか

質 疑 質 問 事 項

2. 熱海市役所の業務体制、組織としての体について

- ① 定例会が開催されるたびに提出される交通事故にかかる専決処分の報告について齊藤市長はどのように感じておられるのか
- ② これだけ交通事故にかかる専決処分が出てくことはトップの資質が問われる。市長が明確な判断を下せない、厳しい指導ができていない、組織としての体を成していないがために起きている問題と考えるがいかがお考えか
- ③ 組織のトップである齊藤市長の責任は極めて重い。自身に対する処分についてお考えはいかがか

質 疑 質 問 事 項

1. 議案第39号 令和3年度熱海市一般会計補正予算(第6号)について
  - ① 2款総務費・3款民生費・7款土木費
  - ② 4款衛生費
  
2. 伊豆山土石流災害により中止となった観光事業の実施について
  - ① 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連した観光事業の実施について
  
3. 伊豆山地区の土石流災害に寄せられた支援金について
  - ① 復旧・復興計画について
  - ② 家屋内の土砂取り除き費用について

質 疑 質 問 事 項

1. 安心安全なまちづくりについて

- ①「犯罪被害者等の支援に関する条例」の制定について。
- ②伊豆山土石流災害の義援金と支援金について。
- ③盛土崩落起点部分に隣接する太陽光パネル設置造成工事とグラウンド造成工事について。

2. 長浜海浜公園に隣接する南側（下多賀側）の海岸埋め立て計画について

- ①土砂にフッ素が含まれていますので丁寧な安全説明を。
- ②熱海市の工事負担は土砂の運搬経費と植栽経費だけで済むのでしょうか。
- ③長浜の松並木の現状について。
- ④上多賀側の北工区は国道に沿ってヒマラヤ桜が植栽されていますが、下多賀側の南工区はどのような植栽を計画されていますか。
- ⑤上多賀側には大型複合遊具を設置していますが、下多賀側の緑地広場の有効活用について。

3. 熱海市の財政について

- ①新型コロナ対策経費の熱海市負担額について。
- ②伊豆山土石流災害における国、静岡県、熱海市の負担額について。
- ③来年度の財政運営の見通しについて。

質 疑 質 問 事 項

1. 議案第39号 令和3年度熱海市一般会計補正予算(第6号)について
  - ①職員給与費等について
  - ②熱海ふるさとサポート寄附金事業について
  - ③新型コロナウイルス感染症に係る予防接種経費について
  - ④観光施策について
  
2. 認定第4号 決算認定について(令和2年度熱海市一般会計決算)について  
令和2年度熱海市各種会計歳入歳出決算書p261によると、財政調整基金が3億6百万円増えている。令和2年度はコロナ対策で、基金を取り崩し、さまざまな支援を行ったと考えるがその内容は
  
3. デジタル庁発足を受け、本市の今後の課題は
  
4. 本市における各種支払い方法について
  - ①市税等の支払い方法について
  - ②上下水道・温泉料金の支払い方法について
  - ③保育料等費用の支払い方法について
  
5. 起雲閣横の火災現場について

質 疑 質 問 事 項

1. 安心安全に暮らすまちについて

(1) 6月定例会にて、市長に対し「コロナ禍における行政の舵取り」について質した。危惧していたのは、コロナ禍に加えて災害が起きたときの通常業務の遂行だが、果たして7月3日の土石流災害以降、市長は正しくその責務を果たしていたか。

2. 障がい者福祉について

(1) コロナ禍において不利益を被った方の中には障がい者とその家族もいる。加えてこの度の土石流災害で更にその傾向が強くなった。かねてからの懸念事項である「熱海ワーキンググループ」。これは市内の障がい者福祉事業所が抱える問題点を市と共に話し合い、今後の熱海市の障がい者福祉についての方向性を定めていくとても重要な会議の場となるわけだが開催はされたのか。もしされていないのであればその理由を。

3. 行政における女性活躍について

(1) 再三にわたって女性職員の管理職登用について質してきたが、なかなか目に見える成果が表れていないように感じている。市民のおよそ半分は女性。行政のリーダー的ポジションに立つ女性も同様に半数ほしいところである。改めて認識を問う。

質 疑 質 問 事 項

1. 安心して産み育てられる環境について

(1) 国際医療福祉大学熱海病院の産科が休止して以来、これに由来する困りごとへの訴えは届いているか。

2. 防災について

(1) 伊豆山土石流災害の際に開設された避難所でわかった問題点、課題点とは。

3. 熱海市伊豆山ささえ逢いセンターについて

(1) 活動して、どのような事が把握できたか。

4. 災害避難時におけるペットの対応について

(1) 9月定例会で「行政とのコミュニケーション不足」という反省点があげられたが、その後、コミュニケーションを図ることはされているか。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害について

- (1) 源頭部北東側隣接地の宅地造成について
- (2) 源頭部北側隣接地の宅地造成について
- (3) 源頭部の盛土について
- (4) 源頭部南西側隣接地の緊急伐採について
- (5) 市職員並びに市退職職員に対する事情聴取について

2. 伊豆山復興と宿泊税について

宿泊税創設に向けた議論が進んでいない中、宿泊税を被災者支援にからめて総務副大臣に要望した真意を聞きたい。

3. 地域包括ケアシステムにおける地域住民（地域組織）との関係について

- (1) 昨年度からスタートした「重層的支援体制整備事業」の現状を確認したい。
- (2) 地域との協働による支援体制が必要と思うが、地域自治組織との連携についての認識を伺いたい。
- (3) 地域住民の課題解決には地域力の活用が不可欠と感じている。そのためにも、市には地域づくりへ財源に裏付けられた積極的な更なる支援を望みたいが市の認識を伺う。



質 疑 質 問 事 項

1. 議案第39号 令和3年度熱海市一般会計補正予算(第6号)について
  - 2款1項7目 一般市有地の管理経費について
    - ①大黒崎地内法面の安全対策について
  
2. 伊豆山土石流災害に関して

質 疑 質 問 事 項

1. 熱海市の行政運営と事務決裁の在り方について

(1) 市の行政運営の最高審議機関、庁議はどのように開催されているか

- ① 7月3日の土石流発生に関し、庁議でどのように議論されたか。
- ② その後の庁議で土石流の原因究明について、どのように議論されたか。
- ③ 7月中の庁議では、土石流災害対策以外にどのような事が議論されたか。

(2) 熱海市の事務決裁は、適正、適切に行われてきたか

- ① 市の事務決裁規程で、例えば開発行為の許可申請はどのように決裁されるのか。
- ② 今度の伊豆山土石流災害の元凶と言われている盛土手続は、問題無く、適正に審査され決裁されているか。

2. 熱海市監査委員に関して

(1) 監査執行に係る、熱海市監査基準について

- ① この監査基準よって、在来に比べ監査の質が向上されたか。

(2) 監査委員は、今度の伊豆山土石流災害について、どのように思料されているか

- ① 土石流を発生させた事に関し、各種の行政行為に問題があったとの指摘がされており、これらは今も監査の対象とすべき事案ではないかと思うが。

3. 熱海市の地球温暖化防止施策と、COP26について

- ① 熱海市は令和2年度にこの施策として何を行い、どのような成果があったのか。

② 世界の中で、温暖化防止に失敗すると人類の滅亡に通じると訴えられていることについて、市長はどう思うか。

- ③ COP26において、気候変動防止策の中で、どのような事が訴えられているか。

4. 伊豆山土石流災害に関し、国・県の責務について

- ① 国の残土処理に対する規制の法制定が為されていないのは、どのような事情によるものと思うか。

② 静岡県は、法の定めによって土砂崩壊等の危険地を平成17年に調査し、平成18年以降市内各地に土砂災害警戒区域の指定を行っているが、逢初川上流地について指定を行わなかったのは適正であったと市は考えるか。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害に関して

- ①谷底のような場所の造成工事の場合、1ヘクタールと1.2ヘクタールの判別が目視で分かるものか、また当局ではこの時点での盛土の調査を行っていたのかについて伺います。
- ②静岡県土採取等規制条例第3条第2項には9項目にわたって、土の採取等の計画に記載することが規定されているにも関わらず、不動産管理会社が提出した書面には、災害防止と法面保護など3項目が空欄だったということですが、その3項目とは何かについて説明願います。
- ③災害の責任と被災者に対する補償は、本来であれば、不動産取得税を徴収する静岡県と土石流が崩落した土地の所有者にあると思いますが、当局の考えを伺います。

2. 多賀地区南工区計画（案）について

- ①ただの埋立地にするよりは、時代と環境に合わせ、例えばキャンプ場、バーベキュー会場、カヌーエリア他、有効活用を模索して南熱海の観光拠点としてアピールできないか伺います。

3. ふるさと納税返礼品推進に向けて

- ①新潟県三条市のような、マーケティング特任専門員を募集して、A-biz 専従員に代わる制度の確立ができないか伺います。

4. ブルネイ・ダルサラーム国との間で締結しているホストタウン事後交流について

- ①熱海市との間で締結した、東京オリンピック・パラリンピック閉幕後の“事後交流”について、現在の進捗状況について伺います。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害について

9月22日に災害対策本部が廃止されたが、どのような総括がなされたのか。

同日、復興推進本部が設置されたが、その活動の基本方針は。

応急仮設住宅への入居状況、被災者生活再建支援金の給付状況、義援金の配分状況は。

地域復興計画についての住民の意見は、どこでどのように反映されるのか。

2. コロナ感染症対策について

第6波への備えは。

ワクチン接種の進捗状況と最近の接種状況は。

未接種者への働きかけは。

3回目接種の計画は。

3. 熱海応援クーポンについて

「バイ・シズオカ」に「熱海応援クーポン」を追加した事業だが、利用期間はいつまでか。

経済効果はどうか。

4. 熱海市民クーポン券について

配布状況・使用状況は。

未受領宅へのお知らせは。

1月末までの消費を促す手立ては。